第3期ロジスティクス環境会議 メンバー各位

社団法人日本ロジスティクスシステム協会

ロジスティクス環境会議企画運営委員会

### 「省エネ法 実態調査」へのご協力のお願い

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申しあげます。

ロジスティクス環境会議の諸活動につきましては、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し あげます。

さて、先般、7月31日(金)に開催されました「第3期ロジスティクス環境会議 第1回本会議」におきまして、本年度の活動として、「省エネ法 実態調査」を実施することが承認されました。

本調査は、①定期報告書の収集により、CGLメンバーの特定輸送事業者におけるエネルギー使用量や判断基準の遵守状況等の概況を分析する、②計画書の収集により、CGLメンバーの特定輸送事業者における省エネ計画の分析を行うことにより、CGLメンバー等を中心とした多くの企業において、物流・ロジスティクス分野における $CO_2$ 排出削減活動の一助となる情報提供を行うことを目的としております。

つきましては、ご多忙のところ誠に恐縮に存じますが、本調査に御協力賜りますようお願い申 しあげます。

敬具

記

- 1. 回答方法:
  - 1)「定期報告書」、「計画書」について 本年6月に運輸局に提出された「定期報告書」「計画書」の写しをメールもしくはご郵 送いただくか、必要事項を添付WORDファイルにご記入下さい。
  - その他の設問について
     添付WORDファイルにご記入ください。
  - \*詳細は、次ページの「省エネ法実態調査 回答にあたって」をご確認ください。
- 返信 先:ロジスティクス環境推進センター 事務局 cgl@logistics.or.jp
   \*ご郵送される場合は、下記問い合わせ先宛に送付いただきたく存じます。
- 3. 回答締切日:2008年9月5日(金)

以上

#### 「問い合せ先」

社団法人日本ロジスティクスシステム協会 ロジスティクス環境推進センター 栗原、武藤、北條 〒105-0014 東京都港区芝 2-28-8 芝 2 丁目  $\mathfrak{t}^*$   $\mathfrak{d}$  3F

TEL: 03-5484-4021 FAX: 03-5484-4031 E-mail: cgl@logistics.or.jp

#### 省エネ法 実態調査 回答にあたって

### 1. 本調査のねらい

本調査のねらいは以下のとおりです。

- ① 定期報告書の収集により、CGLメンバーの特定輸送事業者におけるエネルギー使用量や判断基準の遵守状況等の概況を分析する。
- ② 計画書の収集により、CGLメンバーの特定輸送事業者における省エネ計画の分析を 行う。

なお、本調査票は、CGLメンバーのうち、特定輸送事業者該当企業の方に送付しております。

### 2. 回答方法

1) 定期報告書、計画書について

本年6月に運輸局に提出された「定期報告書」「計画書」の写しをメールまたはご郵送いただきたく存じます。(郵送される場合は、送付用封筒をお送りいたしますので、ご連絡ください。)

なお、写しの提出が不可能な場合のみ、下記回答票にご回答ください。 (定期報告書、計画書のフォーマットとほぼ同じものです。)

<u>定期報告書</u> → 回答票 01【特定輸送事業者】定期報告書. doc <u>計</u> 画 書 → 回答票 02【特定輸送事業者】計画書. doc

2) その他の設問について

「定期報告書」、「計画書」の内容以外の設問です。下記回答票にご回答下さい。

そ の 他 ⇒ 回答票 03【特定輸送事業者】その他の設問. doc

### 3. 締切日

2008年9月5日(金)

### 4. 回答送付先

社団法人日本ロジスティクスシステム協会 ロジスティクス環境推進センター 事務局 〒105-0014 東京都港区芝2-28-8 芝2丁目ビル3F TEL 03-5484-4021 FAX 03-5484-4031 メールアドレス cgl@logistics.or.jp

### 5. その他

- ・回答企業の承諾がない場合において、回答企業名は一切公表いたしません。
- ・回答票の行等は適宜追加していただいてかまいません。
- ・回答結果は、環境会議の研究会、各委員会の活動の一環として活用いたします。

# <回答票 01 【特定輸送事業者】定期報告書. doc>

# 【はじめに】

本年6月に運輸局に提出された「定期報告書」の写しをメールまたはご郵送いただく場合は、 本票への回答は不要です。

\_\_\_\_\_

## 第1表 エネルギーの使用量

第1衣 エイルヤ	エネルギーの種類		使用	量
エネルギーの種類		単位	平成 19 年度	熱量GJ
揮発	油	k l		
ジェット	燃料油	k l		
軽泡	Ħ	k l		
A重	油	k l		
В • С	重油	k l		
液化石油ガス	ス(LPG)	t		
液化天然ガン	ス(LNG)	t		
石炭(	)	t		
都市ガス(CN	「Gを含む。)	手 m 3		
	昼間買電	千kWh		
一般電気事業者	夜間買電	千kWh		
7 0 14	上記以外の買電	千kWh		
その他	自家発電	千kWh		
その他のエネルキ	その他のエネルギー(			
合 計GJ				
原油換算 k l				
対前	ī年度比(%)			

第2表 輸送用機械器具の概要、使用状況及び導入、改造又は廃棄の状況

器具の名称		概	使	用	状	況	導入、改造又は 廃 棄 の 状 況
							, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,

第3表 貨物ごとに当該貨物の重量に当該貨物を輸送する距離を乗じて得られる量を算定し、当該貨物ごとに算定した量を合算して得られる量

	平成 19 年度	対前年度比(%)
貨物ごとに当該貨物の重量に当該貨物を輸送する距 離を乗じて得られる量を算定し、当該貨物ごとに算		
定した量を合算して得られる量		

第4表 エネルギーの使用に係る原単位

	平成 19 年度	対前年度比(%)
原単位= エネルギーの使用量(原油換算 k 1) 貨物ごとに当該貨物の重量に当該貨物を 輸送する距離を乗じて得られる量を算定 し、当該貨物ごとに算定した量を合算し て得られる量		

第5表 過去5年度間のエネルギーの使用に係る原単位の変化状況

		年度	年度	年度	平成 18 年度	平成 19 年度	5年度間 平均原単位 変化
	ギーの使 る原単位						
前	方年度比 (%)		A	B	©	<b>(D)</b>	

第6表 過去5年度間のエネルギーの使用に係る原単位が年平均1%以上改善できなかった場合は (イ)、又はエネルギーの使用に係る原単位が前年度に比べ改善できなかった場合は (ロ) に その理由

(イ)の理由	
(ロ)の理由	

第7表 エネルギーの使用の合理化に関する判断の基準の遵守状況

対象項目				
E 0 407 + 41 0	<u>省エネ指針の策定</u> <u>及び見直し</u>	省エネ目標の設定 ・効果測定	<u>省エネ推進体制</u> ・責任者の設置	省エネに関する 従業員教育実施
取り組み方針の 作成とその効果等 の把握	□ 実施中 □ 今後実施 □ 検討中 □ 実施せず	及び対策の見直し □ 実施中 □ 今後実施 □ 検討中 □ 実施せず	□ 実施中 □ 今後実施 □ 検討中 □ 実施せず	<ul><li>□ 実施中</li><li>□ 今後実施</li><li>□ 検討中</li><li>□ 実施せず</li></ul>
省エネ輸送用 機械器具の使用	<ul><li>省エネ輸送用 機械器具の導入</li><li>□ 実施中</li><li>□ 今後実施</li><li>□ 検討中</li><li>□ 実施せず</li></ul>	<ul><li>省エネに資する</li><li>器具の導入</li><li>実施中</li><li>今後実施</li><li>検討中</li><li>該当なし</li><li>実施せず</li></ul>		
省エネ運転・操縦	省エネ運転・操縦 □ 実施中 □ 今後実施 □ 検討中 □ 実施せず	効率的な 輸送ルートの選択 □ 実施中 □ 今後実施 □ 検討中 □ 該当なし □ 実施せず	<ul><li>冷凍機効率の向上</li><li>□ 実施中</li><li>□ 今後実施</li><li>□ 検討中</li><li>□ 該当なし</li><li>□ 実施せず</li></ul>	
輸送能力の高い 輸送用機械器具の 使用	輸送用機械器具の 大型化 □ 実施中 □ 今後実施 □ 検討中 □ 実施せず			
輸送能力の 効率的な活用	積載率の向上 □ 実施中 □ 今後実施 □ 検討中 □ 該当なし □ 実施せず	<u>貨物量に応じた</u> 輸送能力の適正化 □ 実施中 □ 今後実施 □ 検討中 □ 該当なし □ 実施せず	<u>空荷走行・航行</u> <u>距離等の縮減</u> □ 実施中 □ 今後実施 □ 検討中 □ 実施せず	
その他	荷主等の関係者 <u>との連携強化</u> □ 実施中 □ 今後実施 □ 検討中 □ 実施せず	<ul><li>効率的な輸送方法</li><li>の選択の促進</li><li>実施中</li><li>○ 今後実施</li><li>○ 検討中</li><li>○ 実施せず</li></ul>	物流拠点の整備 □ 実施中 □ 今後実施 □ 検討中 □ 該当なし □ 実施せず	

第8表	第8表 その他エネルギーの使用の合理化に関し実施した措置							
	措	置	の	概	要			

# 第9表 二酸化炭素の排出に係る事項

1. エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素の排出量

	平成 19 年度
エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素の排出量(t-CO <sub>2</sub> )	

2. 地球温暖化対策の推進に関する法律	に基づく命令に定め	る算定方法又は係数	<b>枚と異なる算定方法又</b>
は係数の内容			
			_
貴社名(	)		
まれる ( ご同答者氏名 (	,		

# <回答票 02 【特定輸送事業者】計画書. doc>

# 【はじめに】

本年6月に運輸局に提出された「計画書」の写しをメールまたはご郵送いただく場合は、本 票への回答は不要です。

I 計画期間

年度 ~ 年度

Ⅱ 計画内容及びエネルギー使用合理化期待効果

<u> </u>	J = [1// * 1	区川口工	mya1   11 7	9J /   <			
対策			計	画	内	容	エネルギー使用 合理化期待効果

## Ⅲ 前年度計画書との比較

対 策	削除された計画	理由
対策	追加された計画	理由

IV その他計画に関連する事項		
貴社名(	)	
ご回答者氏名(	)	

### <回答票 03 【特定輸送事業者】その他の設問. doc>

1. 複数荷主の荷物を混載している場合や、共同配送等にかかわるエネルギー使用量について、荷主ごとに按分し、データ提供しているケースがありますか。当てはまる選択肢を1つお選びください。

□ エネルギー使用量(実燃料使用量、実燃費)を按分しておらず、提供しているケースはない。

□ エネルギー使用量(実燃料使用量、実燃費)を按分しておらず、提供しているケースはない。

□ エネルギー使用量(実燃料使用量、実燃費)を按分し、提供しているケースがある。

(トンキロ(あるいは輸送距離)のみ提供している)

貴社名(

ご回答者氏名(

(トンキロ(あるいは輸送距離)含めて一切提供していない)			
2. 輸送分野におけるCO₂削減に資する下記施策について、Q 1. 前年度(平成 18 年度)と比べて取り組みは進みましたか、また、Q 2. 今後(2~3年後)の見通しについて、主に当てはまる選択肢を1つお選びください。			
施策	Q 1. 平成 18 年度との比較	Q2. 今後の見通し	
	ア、増加(拡大)した	ア、増加(拡大)していく	
	イ、やや増加(拡大)した	イ、現状と同様に実施	
	ウ、同じ	ウ、減少(縮小)していく	
	エ、やや減少(縮小)した	エ、今後も実施しない	
	オ、減少(縮小)した	オ、不明	
	カ、実施していない		
	キ、不明		
1) エコドライブ	アイウエオカキ	アイウエオ	
2)車両の大型化・トレーラー化	アイウエオカキ	アイウエオ	
3)共同物流・共同配送	アイウエオカキ	アイウエオ	
4)輸配送ルートの見直し	アイウエオカキ	アイウエオ	
5) 輸配送頻度の見直し	アイウエオカキ	アイウエオ	
6)主要な荷主との連携・協力	アイウエオカキ	アイウエオ	
(定期的会合の実施、協力等)			

)

ご協力ありがとうございました。